

東日本大震災における 国際レスキューシステム研究機構の対応

田所 諭

国際レスキューシステム研究機構 会長
東北大学 教授

東日本大震災におけるIRSの主要活動

日	活動	適用対象	主担当
3/11	米国:CRASARに対する出動要請(正式Invitation Letter 3/17)	倒壊家屋	田所
3/13	仙台:仙台市消防局に対する能動スコープカメラ適用の申し出 仙台:能動スコープカメラスタンバイ	倒壊家屋 倒壊家屋	田所 田所
3/14	仙台:東北経産局, 宮城県, 仙台市を通じた適用可能ロボットリスト配布 仙台:Quinceスタンバイ	被災工場 被災工場	田所 小柳
3/15	仙台:空港ニーズ調査	津波災害	田所
3/17	千葉:鹿島コンビナートのためのQuince適用検討 千葉:福島原発対応のためのQuince改造開始	被災工場 福島原発	小柳 小柳
3/19	八戸:KOHGAIによる体育館被災調査, 港湾関係のニーズ調査	被災建物	松野
3/28	仙台:Quinceによる全壊建物調査(東北大人間環境系研究棟)	被災建物	田所
3/31	岩手:港湾調査へのロボット適用呼びかけ	港湾調査	松野
4/2	宮城県南三陸町:町長よりロボット適用依頼	港湾調査	木村
4/7	宮城:港湾調査へのロボット適用呼びかけ	港湾調査	村田
4/11	宮城・岩手:被災状況のデジタルアーカイブ呼びかけ	被害状況	村田
4/18	-4/19 宮城県亘理町:Anchor Diver IIIによる港湾調査	港湾調査	広瀬
4/18	-4/19 宮城県南三陸町:Seamore, SARbot港湾調査(CRASAR協力)	港湾調査	木村
4/18	-4/21 宮城県・岩手県:計測車両によるデジタルアーカイブ	被害状況	池内
4/20	-4/22 岩手県陸前高田市:Seamore, SARbot港湾調査(CRASAR協力)	港湾調査	松野

赤字:実災害適用
青地:対応のための開発

NPO法人国際レスキューシステム研究機構

■ 設立目的

先端的緊急災害対応システムの研究, 開発, 普及, その支援, 国際協力に関する事業を行ない, 先端的緊急災害対応システムの国際的発展と実用化に寄与するとともに, その活動を通して科学技術・学術の発展と普及, 安全で安心して暮らせる社会の実現に貢献する.

■ これまでの災害対応実績

- 新潟中越地震 IRS蒼竜の適用試験
- 新潟中越沖地震 能動スコープカメラの適用試験
- 米国建設現場倒壊事故 能動スコープカメラによる災害原因調査(貢献実績)
- ドイツケルン公文書館倒壊事故 能動スコープカメラの出動

■ これまでの主要研究事業実績

- 文科省大都市大震災軽減化特別PJ レスキューロボット等次世代防災基盤技術の開発
- 消防庁消防防災科学技術研究推進制度
 広帯域無線レーダー, 油空圧レスキューツール, 能動スコープカメラ
- NEDO戦略的先端ロボット要素技術開発 被災建造物内移動RTシステム
- NEDO次世代ロボット智能化技術開発プロジェクト 移動知能(社会・生活分野)の開発

連絡先

特定非営利活動法人 国際レスキューシステム研究機構(IRS)

事務局長: 村田 美香

E-mail: murata@rescuesystem.org

携帯: 090-9142-8077

会長: 田所諭

E-mail: tadokoro@rm.is.tohoku.ac.jp

携帯: 090-3709-5449

副会長: 松野文俊

E-mail: matsuno@me.kyoto-u.ac.jp

◎神戸ラボラトリー

神戸市長田区二葉町7-1-18地域人材支援センター1階

Tel:078-641-2840 Fax:078-641-2841

URL <http://www.rescuesystem.org>